

オランダAIMにおける栄養改善の 国際展開に関する調査報告

オランダAIM調査チーム
平成27年6月3日

1. オランダAIM調査の概要

▶ スケジュール

平成27年4月23日～24日（2日間）

▶ オランダAIM調査チーム

栄養改善事業の国際展開検討チーム有志：内閣官房、
外務省、農林水産省、味の素（株）、大塚製薬（株）

▶ ヒアリング調査対象

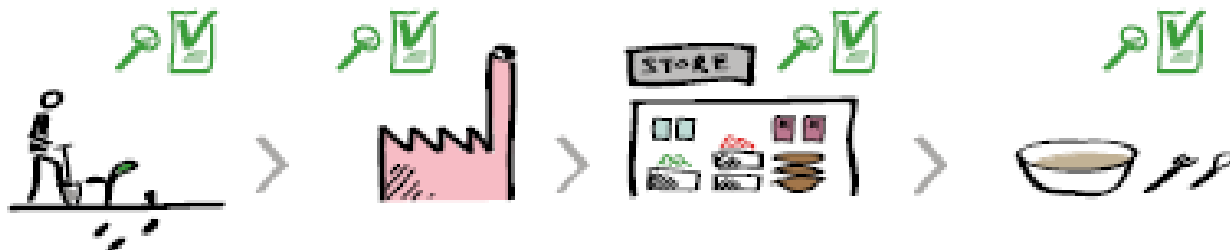
- ① AIM全体（オランダ外務省、AIM事務局・参加企業）
- ② Vegetables for all project（Rijk Zwaan（種苗会社））
- ③ Fresh assembly hubs project（SPAR（小売））



2. AIMの概要 (2009～)

- ▶ 官民連携 (PPP) により途上国の栄養改善を図るイニシアチブ。
- ▶ Market Based Approach (MBA)※による革新的なソーシャルビジネスモデルを開発。
- ▶ フードバリューチェーン全体に関わる企業、NGO、大学等が参加。

フードバリューチェーン 出展: GAIN webサイトより



※Market Based Approach (MBA) : プロジェクト実施国における政策、市民の意識、インフラ等のビジネス環境の整備の下で、持続可能なビジネスを実現し、これを通じて栄養改善を図るもの

3. AIMの発展段階

第二段階:パイロットプロジェクト (2012～現在)

立案した企画を、パートナーが資金、ノウハウ等を投じて試験的に実行。ターゲットグループの栄養改善へのインパクトと、ビジネスとしてのフィージビリティをテストすることが目的。
現在、30以上のパートナーが存在。

第三段階:ロールアウト(将来)

パイロットプロジェクトが栄養改善及びビジネスとしてのフィージビリティの点で成功と証明されれば、事業を拡大。

第一段階:インキュベーション (2009年～2011年)

7つのパートナーで開始。将来的にMBAによって、消費者が購入可能な価格で栄養改善に資する食品を供給できるようなビジネスモデルを、様々なパートナーとともに企画。

4. AIM パートナー

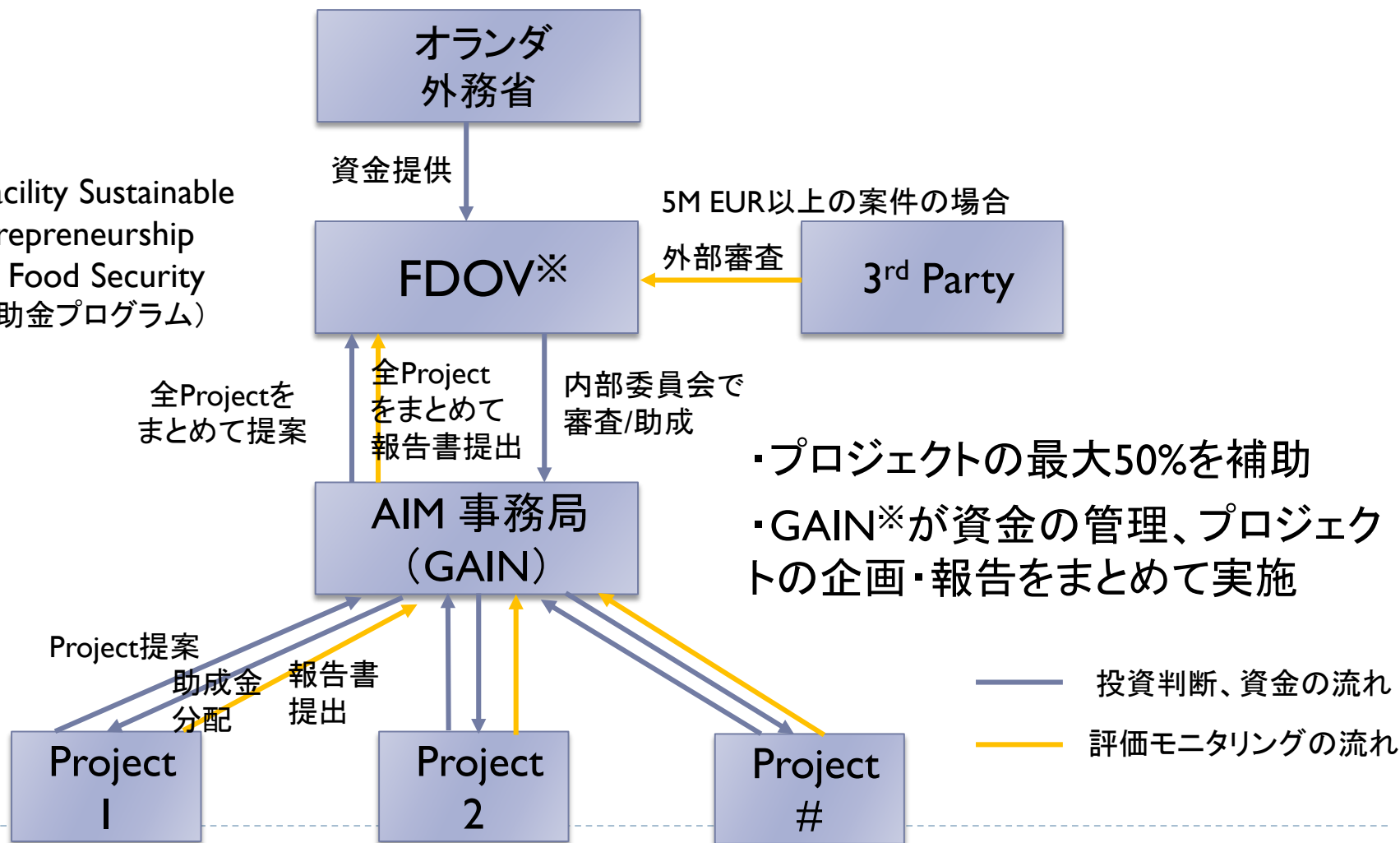
- ▶ オランダ外務省、GAIN(AIM事務局)、民間企業、NGO、大学等が参加



Last update: June 2014

5. AIM ストラクチャー

※Facility Sustainable Entrepreneurship and Food Security (補助金プログラム)



- ・プロジェクトの最大50%を補助
- ・GAIN※が資金の管理、プロジェクトの企画・報告をまとめて実施

6. モニタリングと評価

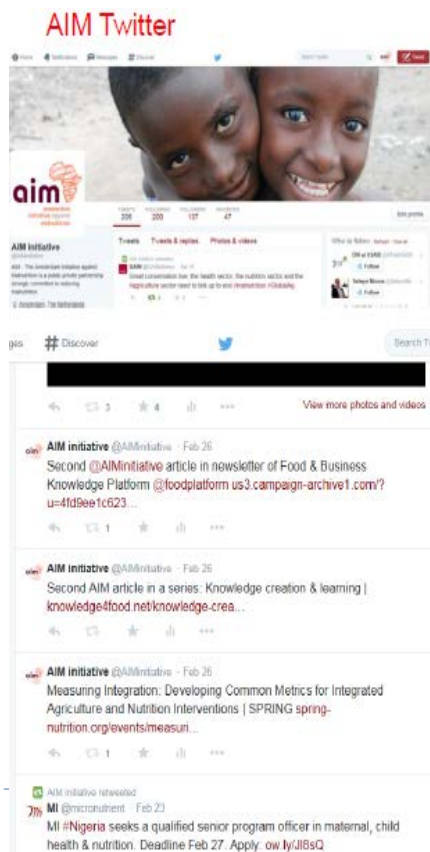
- ▶ Lead Partner (GAIN) は、プロジェクト・ポートフォリオ全体のモニタリング & 評価について最終的な説明責任を負う。実質的な業務は、Wageningen大学に委託。
- ▶ 以下の点でパートナーをサポート。
 - ✓ 成果目標と指標の定義
 - ✓ モニタリングとデータ収集のためのツールの開発
 - ✓ 評価実施に係るマネジメント
 - ✓ モニタリング & 評価結果の解釈と活用
 - ✓ モニタリング & 評価実施に係る能力強化 等

7. AIM事務局等の役割、運営

- ▶ GAINがAIM事務局を運営
- ▶ 予算：300万 USD（約3.6億円）
- ▶ 職員：フルタイム 2.8人
- ▶ 役割：
 - ✓ プログラム全体のマネジメント
 - ✓ パートナー同士の仲介（パートナーの発掘・関係構築等）
 - ✓ モニタリングと評価
 - ✓ ナレッジ・シェアリング
 - ✓ 行政手続き、報告、財政・業務運営のサポート 等

8. 内外とのコミュニケーション

- ▶ 内部向け: ニュースレター、パートナーとのミーティング
- ▶ 外部向け: ウェブサイトやTwitterを使ったもののほか、ネットワーキングイベントの開催やプレスリリース



9. ナレッジ・シェアリング

- ▶ パートナー同士で知見や経験を共有することによって、問題を解決し、前に進むためのアイデアを得る。
- ▶ BoP INNOVATION CENTERは、重要な示唆やベストプラクティスなどをシステムチックに集め、学習用の資料として作成、蓄積。

10. 個別のプロジェクト例

(B1) Vegetables for all (2014-2018 Tanzania)

- ▶ 概要: 多様な食品摂取と栄養改善を図るために、BoP層の消費者の野菜へのアクセスを改善
- ▶ 主なパートナー: Rijk Zwaan※(種苗メーカー)
 - ✓ 種苗会社East-West Seedと共同で、Afrisemを設立し、アフリカの農業従事者に対し、購入できる価格で、かつ品種改良された高品質の種を供給。
 - ✓ ワールドビジョン(NPO)職員を教育(ToT(Training of Trainers))し、彼らがトレーナーとして農業従事者への教育を実施。



※<http://www.rijkszwaan.com/>
出展: Rijk Zwaan提供資料

(B5) Fresh Assembly Points (2013-2018 South Africa)

- ▶ 概要：地域の小売店を、野菜流通のコミュニティ・ハブにし、消費者に質の高い買い物とサービスを利用可能に。地元農家の所得向上と地産地消による輸送コスト削減。野菜の供給により消費者の栄養改善にも貢献。
- ▶ 主なパートナー：SPAR International、SPAR South Africa(小売)
 - ✓ 農家への種苗・肥料等の供給
 - ✓ 小額融資
 - ✓ 農業専門家の派遣
 - ✓ 需要予測情報の提供
 - ✓ 安全性・品質管理



11. 包括的ビジネスを展開する上で重要な事項

◆ 消費者行動等の変革

- ✓ 隠れた飢餓(微量栄養素の欠乏)の問題認識が低い。認識を高めることが重要。
- ✓ 現地の人々の選好と商品をマッチングさせることも必要。

◆ プロジェクト実施国における政策へのアプローチ

- ✓ プロジェクト実施国における保健政策上の栄養改善の扱いは、流通の確保、国民の認知度向上などにおいて重要。
- ✓ ロビー活動を行う際は、栄養改善に対する効果に関するデータの提供、アドボカシー活動における擁護者との協力が重要。
- ✓ 特に栄養強化食品については、事業活動が規制基準と政府の認可に大きく依存。このため、規制基準の整備等はとても重要。

◆ 民間企業における栄養改善ビジネスの位置づけ

- ✓ ビジネスとして取り組むためには、企業のコアビジネスとつなげていくことが重要。

12. PPPによるプロジェクト実施の5つの鍵

✓ **Share Vision:** 関係者間のビジョンの共有

✓ **Clarity of Role and Responsibility:**

関係者の役割と責任の明確化

✓ **Benefit and Respect interest:**

参加する便益の確保と各参加者の利害の尊重

✓ **Clear Communication:**

明確なコミュニケーション

✓ **Good Leadership:** 優れたリーダーシップ

